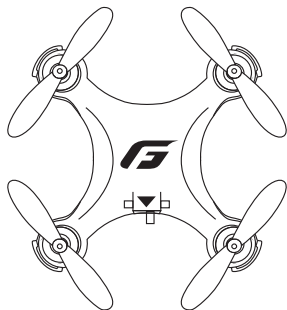
2.4GHz 4ch Radio Control Micro Quadcopter

PXY

ピクシィ

日本語取扱説明書

Ver 1.04

INDEX

安全上のご注意　必ずお守りください

警告

保護者の方へ

当製品は小さな部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3歳未満のお子様が触れないようご注意ください。

⚠ 注意

ここに記載されている注意事項は、製品を安全にお使い頂き、損害や危害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

- 当製品はおもちゃではありません。14歳以下のお子様に使用させないでください。また、お子様の手の届く場所に保管しないでください。
- 対象年齢未満のお子様がいるところで使用しないでください。
- 当製品は屋内でのフライトを推奨します。屋外では風の影響が強く正常にフライトできない恐れがあります。
- 飛行に慣れるまでは室内の広い場所での練習をお奨めします。室内であってもエアコンや換気扇の影響を受けます。風の流れがない状態がフライトしやすくなります。
- 屋外でのフライトは高圧線・公共施設・空港・道路・線路が近くにある場所では、絶対にしないでください。まわりに人がいる場所、建物がある場所で絶対にフライトさせないでください。
- プロペラは高速回転しますので大変危険です。飛行中は人の顔や手に接触しないように十分注意して安全に飛行させてください。特に目に当たると失明の恐れがあります。
- 水や火の中に入れたり、分解しないでください。
- 火の近くや高温多湿の場所で使用したり、充電・保管はしないでください。
- フライト前に必ず各ビスの緩み、パーツ破損・脱落がないかを点検してください。点検を怠ると最悪の場合、飛行中に部品が飛び大変危険です。フライト後も必ず部品に破損や脱落が無いかを確認してください。

- フライト後は速やかにPXY本体電源を切ってください。保管中はお子様に触れさせないように注意してください。
- 送信機に使用する単四電池はアルカリ乾電池を使用してください。それ以外の充電式電池やマンガン電池は使用しないでください。電圧が異なるため、正常に使用できない場合があります。
- 単四電池は古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 単四電池の＋(プラス)、−(マイナス)を正しくセットしてください。
- しばらく遊ばないときは送信機の単四電池は外して保管してください。
- 万一、単四電池から液が漏れ、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談してください。衣服、皮ふに付いたときは水で洗ってください。
- 当製品はLiPoバッテリーを使用しています。この電池はその特性から、取扱いを誤ると発火等の危険な事態を引き起こす恐れがあります。取り扱い注意事項を守り、安全に飛行をお楽しみください。
- LiPoバッテリーは純正充電器でのみ充電可能です。それ以外の充電器は絶対に使用しないでください。
- 当製品は生産工場にて動作確認を行っておりますが、ご購入後の動作確認の際、動作に不具合が認められる場合はフライト頂かず、販売店様または弊社カスタマーサポートへご相談ください。
- 当製品(機体本体・送信機・充電器)を改造しないでください。また、専用パーツ以外をご使用になった場合、正常にフライトできないばかりか思わぬ事故に繋がる恐れがあります。十分ご注意ください。
- 当製品付属の送受信機は2.4GHz帯を使用しています。ご家庭の無線LANやワイヤレス機器と干渉する恐れがあります。飛行させる際は電波の影響がない場所でお楽しみください。
- 当製品を高温となる自動車内や直射日光が当たる場所に放置しないでください。
- 当製品の受信機・送信機は精密機器です。水に濡らしたり湿気が多いところに放置しないでください。
- プロペラには向きがあります。交換する際は説明書を参照して正しく取り付けてください。正しく取り付けないと正常に飛行できません。

【重要】PXY内蔵 LiPoバッテリーについて

当製品が採用しているLiPoバッテリーは小型で高性能ですが、取扱いを誤ると大変危険です。火災や重大な事故を引き起こす恐れがあります。当説明書を良くお読み頂き、正しい知識を得た上で慎重にお取扱い頂けますようお願いいたします。

1.取扱上の重要事項

- LiPoバッテリーは比較的新しい規格のバッテリーです。正しい知識を得た上でご使用頂く必要があります。必ずこの注意事項をお守り頂き、正しく安全にご使用ください。
- 充電に際し、過充電の火災に備えて消火器等を備えてください。
- 充電は必ず付属の専用充電器をご使用ください。
- 機体で使用する状態でのみ放電してください。それ以外の放電はしないでください。
- 当製品は模型用充電式リチウムポリマー電池であり、他の用途には使用できません。
- 変形や臭い、変色等の異常がある場合は使用しないでください。
- 電池を絶対に分解・改造しないでください。
- 過放電してしまった場合はご使用頂くことができません。放電し過ぎないようご注意ください。また、軽い過放電を繰り返した場合もバッテリーが次第に傷んでいき、充電・放電時間が極端に短くなり、使用できなくなります。
- LiPoバッテリーは消耗品です。交換・返品は致しかねます。

2. 充電時の注意

- 充電中は目を離さず、異常事態が起きた場合は速やかにUSBケーブルを外して充電を中止してください。
- 万一充電中にバッテリーが膨れ始めたらバッテリーが異常に過熱している恐れがあります。絶対にバッテリーに触れず、USBケーブルを外して充電を中止してください。充電し続けると破裂する恐れがあります。USBケーブルを外して充電器にバッテリーを差し込んだまま安全な場所で様子を見てください。
- リチウムポリマー電池にはメモリ効果がないため、放電無しで追加充電が可能です。
- 充電完了後は充電器の赤LEDが消灯します。この際、バッテリー端子が充電器に接触していることで放電していきます。速やかに充電ケーブルを抜いてください。USB充電器に差したまま放置すると過放電となり、バッテリーが使用できなくなる恐れがあります。十分注意してください。

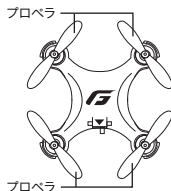
3. フライト中の注意

- 墜落・衝突などした際、バッテリーが強い衝撃を受けると膨張したり発火する恐れがあります。可燃物を避けた場所でしばらく放置して、安全であることを確認してください。当製品付属のバッテリーはPXY本体に内蔵されていますので、衝撃にある程度耐えることができますが、本体が破損してしまった場合はバッテリーが破損している場合がありますので、ご使用を中止して適切に廃棄するようにしてください。

4.内蔵電池を保管・保存する場合の注意

- LiPoバッテリーの保管可能温度は-10〜45℃前後です。性能の劣化を防ぐには25℃前後が最適です。
- 自動車内や室内の窓際など、直射日光の当たる場所に放置するとバッテリーが高温となり、自然発火する恐れがあります。そのような場所での保管はお止めください。
- 2週間以上ご使用頂かずに保管する場合は満充電後2分程度フライトさせ、バッテリー容量が50〜70%程度になってから保管するようにしてください。

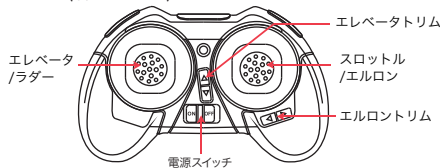
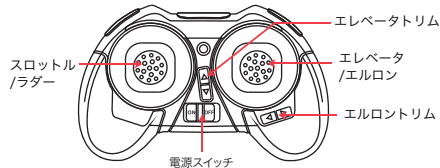
付属品一覧

PXY本体

USB充電ケーブル

予備プロペラ x 4

別売りスペアパーツ
PXYプロペラセット(Atype4枚/Btype4枚)
GB207 400円(税抜)

送信機各部名称

MODE1(右スロットル)

MODE2(左スロットル)

送信機を準備する

■ 送信機には単四電池2本(別売)が必要です。単四電池をセットしたら、必ず電池BOXネジは電池の脱落を防ぐために必ず締めてください。

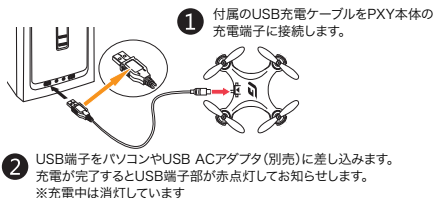
1.送信機裏面の電池BOXを外します	2.単四電池2本を向きに注意してセットします	3.電池BOXのフタを締めます

※ 送信機乾電池残量がなくなると、「ピー」とアラーム音が鳴り、送信機LEDが点滅します。速やかに乾電池を交換して下さい。

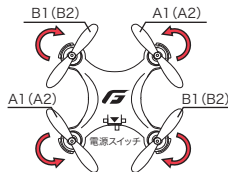
PXYを充電する

■ フライト用のLiPoバッテリーはPXY本体に内蔵されています。
フライト前に必ず充電してください。手順は次の通りです。

1 付属のUSB充電ケーブルをPXY本体の充電端子に接続します。

2 USB端子をパソコンやUSB ACアダプタ(別売)に差し込みます。
充電が完了するとUSB端子部が赤点灯してお知らせします。
※充電中は消灯しています

プロペラの取り付け方法

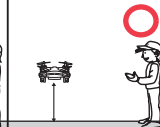
プロペラには向きがあります。モーター回転方向に応じて正しいプロペラを取り付けてください。

※プロペラに(A)、(B)の刻印がありますので、図を参考に正しい位置に取り付けてください。
※A1とA2、B1とB2は同一の形状になります。

重要な注意点

電波到達範囲について

この製品の電波到達範囲はおよそ20mとなっています。この範囲を超えてフライトすることはできません。送信機とPXY本体が離れすぎるとモーターが止まり、墜落してしまう恐れがあります。また、2.4GHz帯の電波を使用した無線LANなどの機器と干渉する恐れがあります。十分ご注意ください。

フライトする際の注意点

フライトをはじめる

■ フライトをはじめる前に必ずPXY本体に破損がないかどうか確認します。また、プロペラが4枚とも欠けや曲がりがないかどうかも確認してください。
※PXY(機体)→送信機の順に電源を入れます

1. 送信機スロットルスティックを0(ゼロ)位置にします。
2. PXY本体の電源スイッチをONにします。PXY本体の青LED2箇所が高速に点滅します。
3. 送信機の電源スイッチをONにします。PXY本体の青LED2箇所がゆっくり点滅します。
4. 送信機スロットルスティックをフルハイ(100%)位置に上げ、すぐに0(ゼロ)位置に戻します。アラーム音が鳴り、青LEDの点滅が点灯に変わり操作できる状態になります。

MODE1(右スロットル)

MODE2(左スロットル)

※ フライト中、青LED2箇所が断続して3回点滅して、PXY本体バッテリー残量がなくなったことをお知らせします。速やかにフライトを中止して充電するようにしてください。なお、点滅後しばらくするとオートカット機構が働き、自動的にモーターが停止します。

各スティックの役割

スロットル操作【上昇・降下】

MODE1(右スロットル)　MODE2(左スロットル)

ラダー操作【左・右旋回】

右旋回

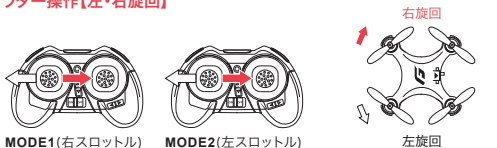
左旋回

MODE1(右スロットル)　MODE2(左スロットル)

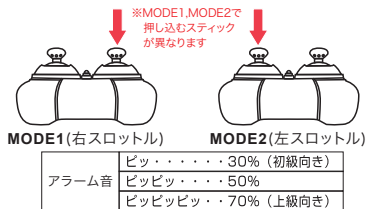
エレベーター操作【前進・後進】

MODE1(右スロットル)　MODE2(左スロットル)

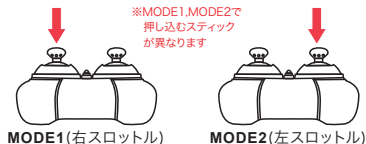
エルロン操作【左・右スライド】

MODE1(右スロットル)　MODE2(左スロットル)

操縦感度調整

■ 操縦感度を変更して、送信機スティック操作に対して操作量を変えることができます。初心者の方は操作量を少なくして、機体が大きく動かないように調整できます。操縦感度は3段階(30%→50%→70%)に調整可能です。スロットルスティックを押し込むことでモードが切り替わります。その都度アラーム音が鳴り、その回数でどのモードなのかをお知らせします。

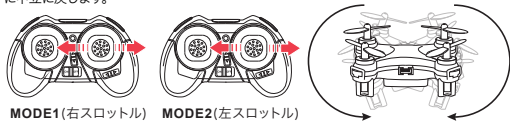
アラーム音	ピッ・・・・・・・30%（初級向き）
	ピッピッ・・・・50%
	ピッピッピッ・・70%（上級向き）

フリップ(宙返り)をする

⚠ **フリップ(宙返り)は十分な高度(高さ)と広い場所が必要です。**
また操縦者と機体は十分に離れた状態(3m程度)で行ってください。

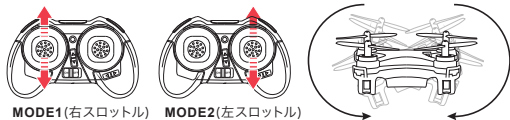
■ PXYはフリップ(宙返り)もできます。フリップをするには十分な高度(2m程度)と十分なスペース(広い場所)が必要です。
下図の通り、フライト中にスティックを押し込むことで「ピッ・・ピッ・・」と断続してアラーム音が鳴り、フリップモードになっていることをお知らせします。このアラーム音が鳴っている間にスティックを操作すると自動的にフリップ動作に入ります。

フリップの種類と操作方法

■左・右サイドフリップ　※左右に360度回転します。

フリップモード(9ページ参照)にした後に、エルロンスティックを左右どちらかに倒し、すぐに中立に戻します。

MODE1(右スロットル)　**MODE2**(左スロットル)

■フロント・バックフリップ　※前後に360度回転します。

フリップモード(9ページ参照)にした後に、エレベータスティックを前後どちらかに倒し、すぐに中立に戻します。

MODE1(右スロットル)　**MODE2**(左スロットル)

キャリブレーション方法

■ キャリブレーションとは、フライト中に左右前後に機体が流れてしまう現象（トリムで取りきれない状態）が出てきた際にリセットできる機能です。手順は次の通りです。

1. 7ページ「フライトをはじめる」を参照してフライトができる状態にします。
2. 水平な場所に機体を置いた状態にして、スロットルは0(ゼロ)にします。
3. 下図のようにスティックを目一杯矢印の方向に倒します。機体のLEDライト(青)2箇所が点滅します。これで完了です。

MODE1(右スロットル)

MODE2(左スロットル)

お問い合わせ先

製品カスタマーサポート: **03-5299-0090**
電話受付:月曜日～金曜日(祝日・夏期休暇・年末年始を除く)
受付時間:10:30～12:00 , 13:30～16:30
(弊社での修理・調整は行っておりません。予めご了承ください)

<随時FAQをWebで更新しています。是非ご参照ください>
www.gforce-hobby.jp

輸入販売元 ： 株式会社ジーフォース
〒103-0021　東京都中央区日本橋本石町4-3-8 第18SYビル4階